

取付説明書



アルパイン
サイドビューカメラ・スマートインストールキット

KTX-N002SE

車 種	年 式	型 式
セレナ	H22/11～現在	C26・FC26 NC26・FNC26

平成23年4月現在のものです。4月以降の車両は変更されている場合があります。

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱い、製品付属の取扱説明書をご確認ください。

【標準装着時間：2.0H】

適応への注意

以下の車両へは取り付けできませんので、ご購入前に必ずご確認ください。

- ・標準ドアミラー非装着車とドアミラーにオプションパーツが装着されている場合
- ・メーカーオプションのアラウンドビューモニター装着車
- ・ディーラーオプションのサイドブラインドモニター装着車

1

目次

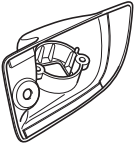
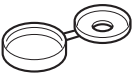
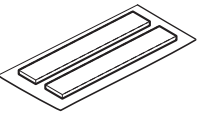
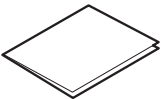
1. 目次	1
2. 必要工具	1
3. 構成部品	2
4. 接続図	3
5. 取付概要	3
6. 取り付けにあたっての注意事項	4
7. 取付要領	6
1. 車両部品の取り外し	6
2. 取付キットの組み立て	7
3. 取付キットの取り付け	8
【サイドターンランプ付車の場合】	8
【サイドターンランプ無車の場合】	11
4. ドアミラー本体の復元	14
5. 各配線の接続	17
6. ナビゲーション本体の取り付け	18
8. 動作確認/車両部品の復元	18

2

必要工具

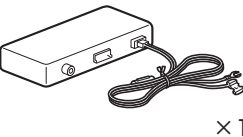
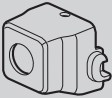
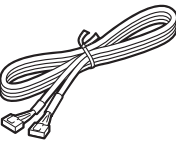
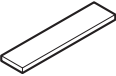
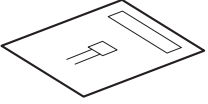
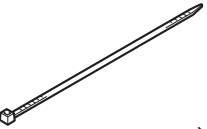
プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、8・10mm レンチ、2.5mm 六角レンチ、
T20・T25 トルクスレンチ、カッターナイフ、セロテープ、マスキングテープ、ビニールテープ、保護メガネ、
保護手袋（軍手）など、電工ペンチ、ホルソー、ドリルストッパー

■サイドビューカメラ・スマートインストールキット

ミラーカバー  ×1	ブラケット  ×1	カメラ取付ねじ (M3×8)  ×4	トラストルクスねじ (M5×16)  ×1	ワッシャー (M5)  ×1
スプリングワッシャー (M5)  ×1	ナット (M5)  ×1	バックブライマー  ×1	型紙  ×1	ボルトキャップ  ×1
トラストルクスねじ (M5×14)  ×5	コルゲートチューブ  ×1	ブチルテープ  ×1	取付説明書  ×1	

■サイドビューカメラ (HCE-C90S) (別売)

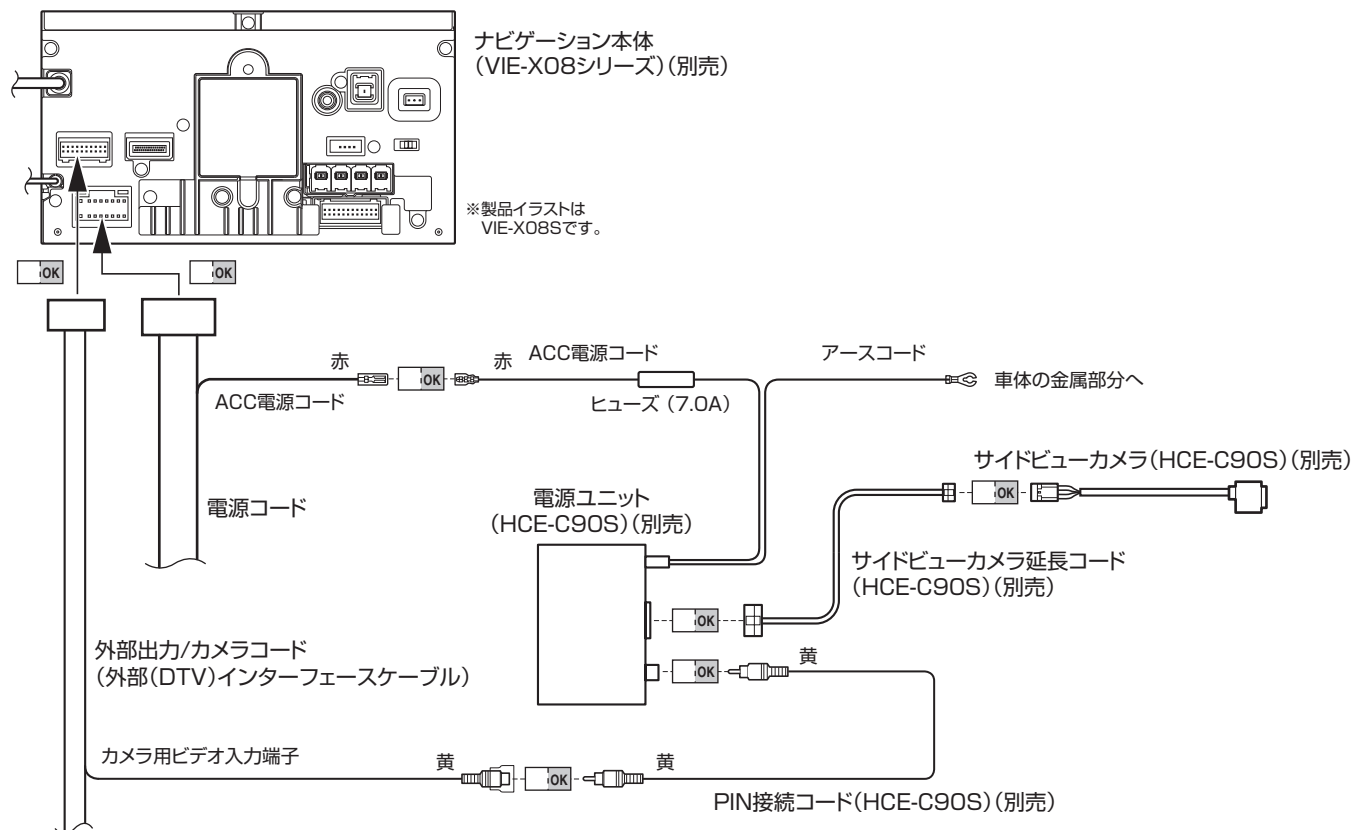
 部の部品は使用しません。

サイドビューカメラ  ×1	電源ユニット  ×1	カメラブラケット一式 取り付け金具 角度調節ネジ カメラ取り付け台 ×1	カメラ取付ねじ (M3×8)  ×2	カメラ取付台固定用タッピングねじ  ×4
カメラカバー  ×1	カメラカバー (底面)  ×1	カメラカバー取付ねじ  ×1	PIN接続コード  ×1	ACC接続コード  ×1
サイドビューカメラ延長コード  ×1	ハウジング (カメラケーブル用)  ×1	両面テープ (電源ユニット用)  ×1	六角レンチ  ×1	取扱説明書  ×1
保証書  ×1	カプラー接続用台紙  ×1	タイラップ (200mm)  ×5		

4

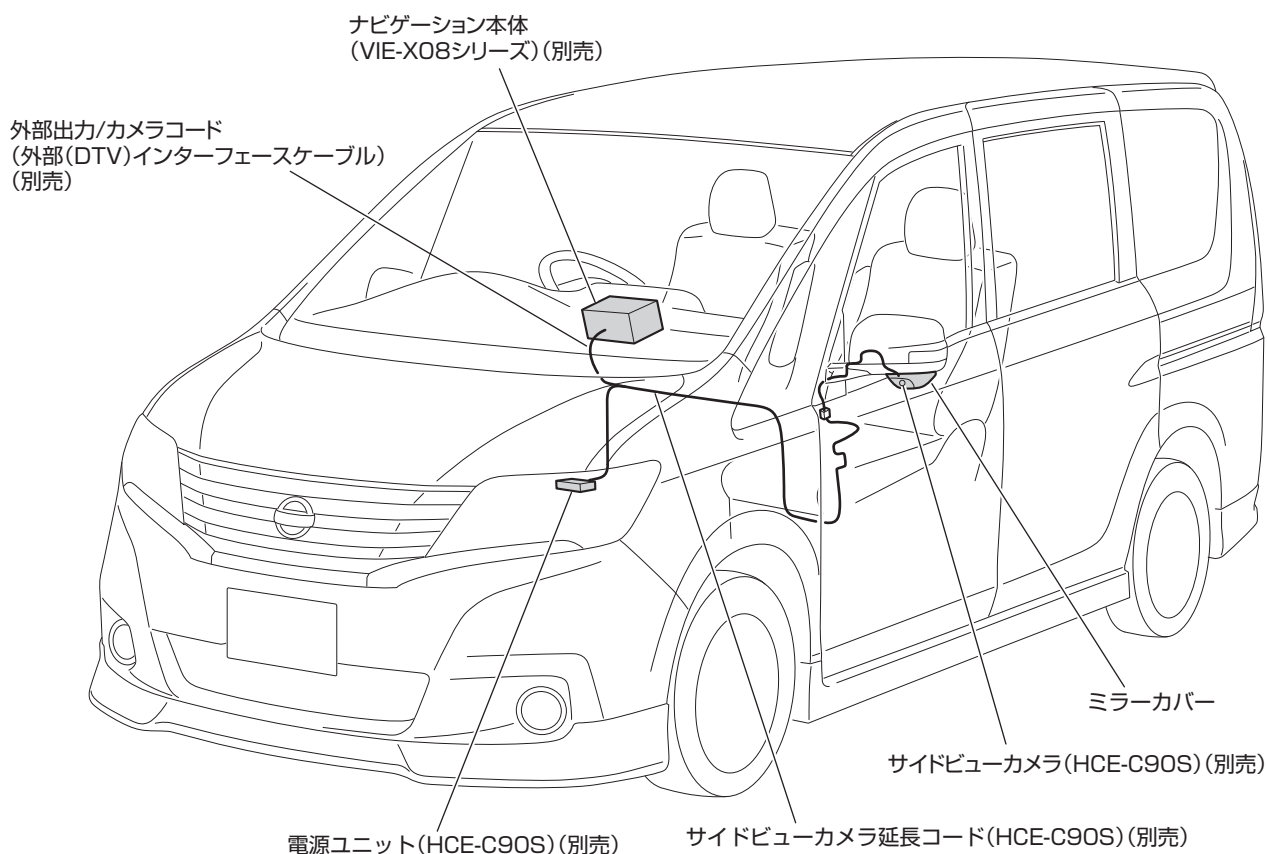
接続図

■基本接続図



5

取付概要



安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店で取り付けを行ってください。
- ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

周辺確認は必ず運転者の目視で行ってください。
サイドビューカメラシステムは車両周辺確認のための補助装置です。
画面に映し出される映像は車両周辺状況の一部です。
カメラは広角レンズを使用しており、通常の視界と映し出される映像では距離感が違います。



映像が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止しお買い上げ店に相談してください。
事故・火災・感電の原因になります。



強制 禁止

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。
制御不能・火災の原因になります。



禁止

ねじなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



強制 禁止

コード類は運転の妨げにならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

走行前にカメラの取り付け状態、ねじの緩みがないか点検してください。事故の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。
感電・ケガの原因になります。



カメラの取り付け作業を行うとき、カメラの取り付け状態を点検するときなどは、車を平坦で安全なところに停めて必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。
事故の原因になります。



コードの被膜を切って、他の機器の電源を取らないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切削粉や破片が入らないように保護してください。ケガの原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

運転中は、画面を見るのを最小限にしてください。走行中に画面を見ていると前方不注意となり事故の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。
火災・故障の原因になります。



カメラ本体は、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



コードをシートレールにはさんだり、突起物に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



コード類の配線は、高温部・可動部を避けて行い、しっかり固定してください。高温部に接触してコードの被膜がとけたり、可動部分による咬み込みによりショートや断線が起こり火災・感電の原因になります。



付属品を指定通りに使い、しっかりと固定してください。事故・故障の原因になります。



カメラ本体以外は水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。事故・故障の原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。また、取り付け場所を移す場合や取り付け車両を変更する場合もお買い上げ店に依頼してください。



車以外に使わないでください。火災・感電の原因になります。



電動ドライバーの使用を禁止します。

電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。



取り扱い上のご注意

取り付けについて

- 本機は弊社が販売する車種別取付キット専用商品です。必ず車種別取付キットを使用し取り付けを行ってください。専用の取付キット以外を使用した場合、性能が十分に確保できず 正常に表示しません。

本機の映像について

- 本機は広角レンズを使用しているためにディスプレイ上の映像と実際の距離とは異なります。

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 画面ノイズや誤作動の原因になる場合があります。携帯電話や無線機は本機から離れてご使用になることをお勧めします。

無理な力を加えない

- カメラの向きのズレ、カメラ取り付け台はがれの原因になりますので、カメラ・取り付け台に無理な力を加えないでください。またカメラ破損の恐れがありますので飛び石等にはご注意ください。

お手入れについて

- レンズに雨滴や汚れが付着した場合、やわらかい布に水を含ませて拭いてください。カメラのレンズ部分・取り付け台・コード類は変形や劣化をふせぐため薬品や磨き粉等を使用しないでください。レンズに傷がつくと、映像が見えにくくなります。

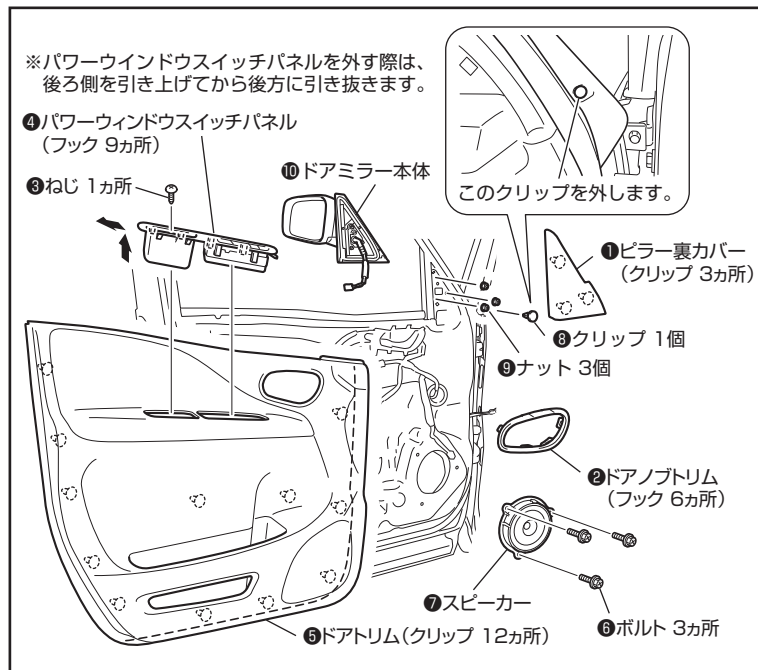
洗車時の注意

- 自動洗車機や高圧洗車は行わないでください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む可能性があります。

夜間および、悪天候時のご使用について

- 本機を夜間や悪天候時にご使用になるときは映像が見えにくくなるときがあります。必ず目視にて車両周辺状況をご確認ください。

1. 車両部品の取り外し

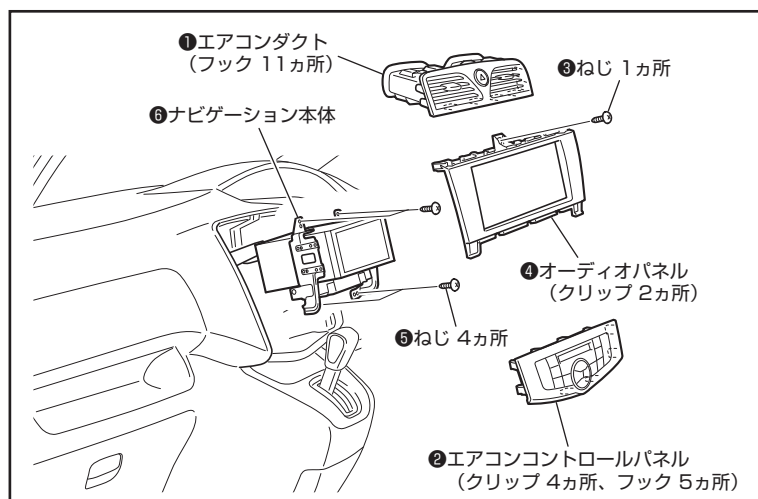


■助手席側ドア周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。
 - ⑨ナットを取り外す際は、⑩ドアミラー本体が落下しないように支えながら作業をしてください。
 - 外したドアミラーはキズ防止のため、塗装面と可動部分全てを養生処理してください。



■インパネ周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

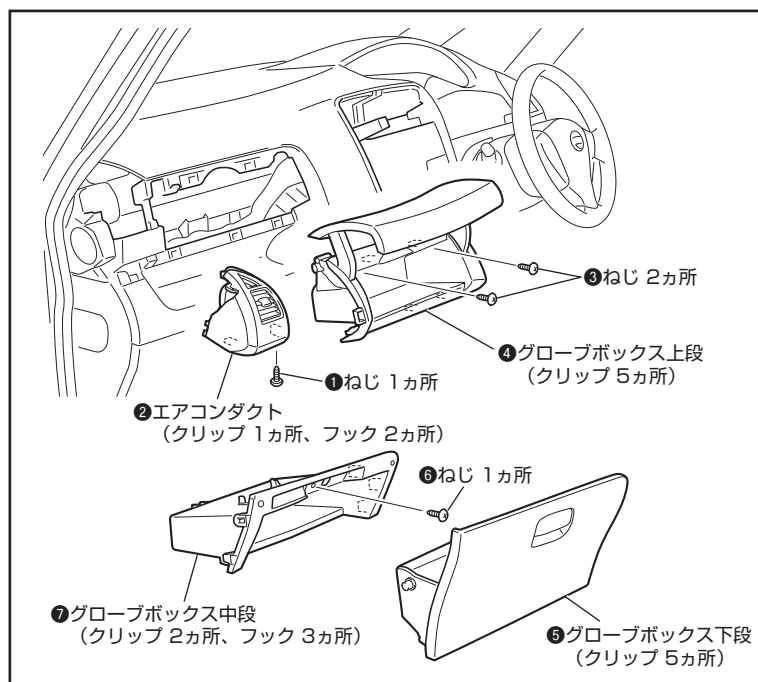


- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。
 - エアバッグ装着車の場合は、衝撃などに注意して内装部品を外してください



Memo

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



2. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

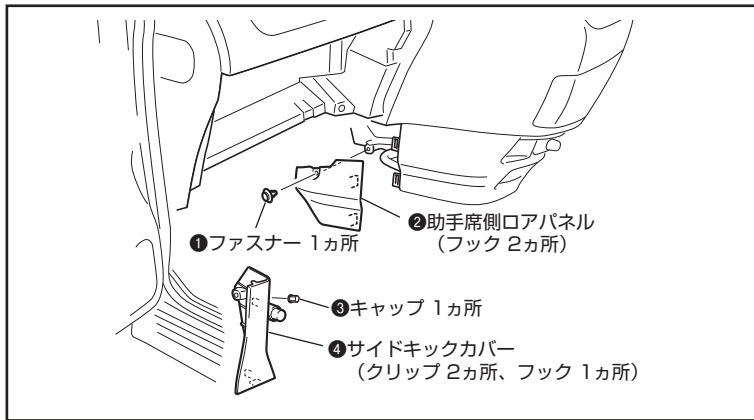


- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。
 - エアバッグ装着車の場合は、衝撃などに注意して内装部品を外してください



Memo

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■助手席側足元周り

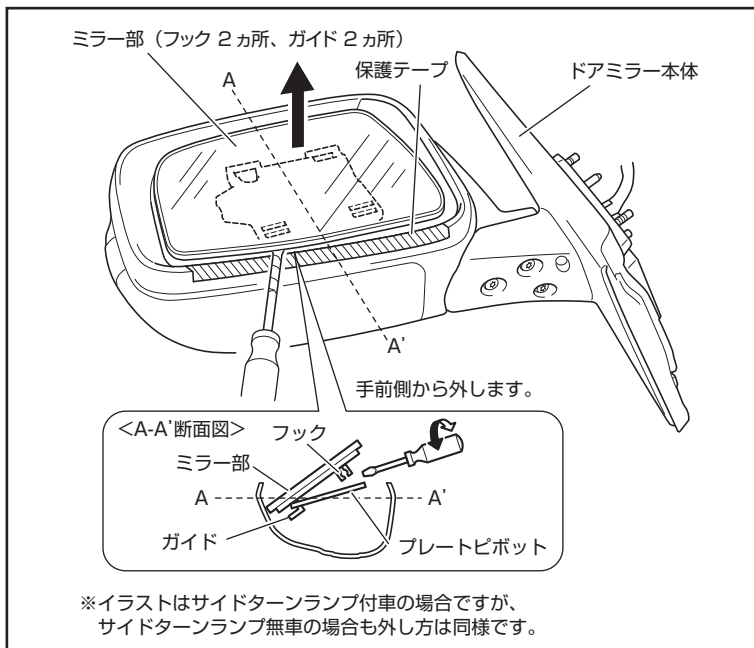
1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



注意 キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。



Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■ミラー部の取り外し

1. ミラー部をドアミラー本体から取り外します。

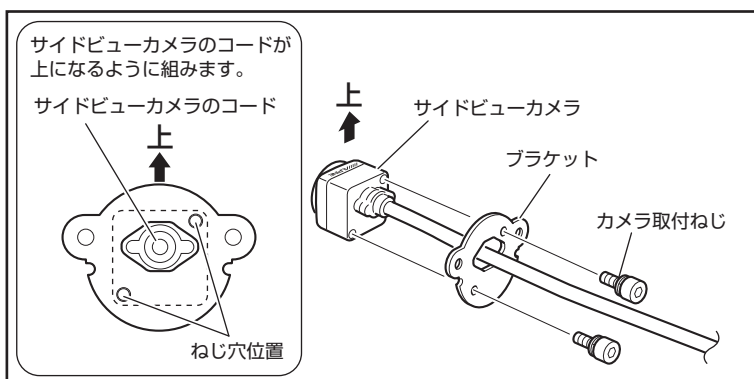


- ミラー塗装面のキズ防止のため、マスキングテープなどで保護してください。
- ミラー部及び機構破損のおそれがあるため、必ずフック(2カ所)をマイナスドライバーで外し、ミラー部を取り外してください。
- ミラー部を取り外す際は、保護手袋を着用してください。



Memo マイナスドライバーをミラー部とプレートピボットの間に挿入してフック(2カ所)の嵌合を外してください。

2. 取付キットの組み立て

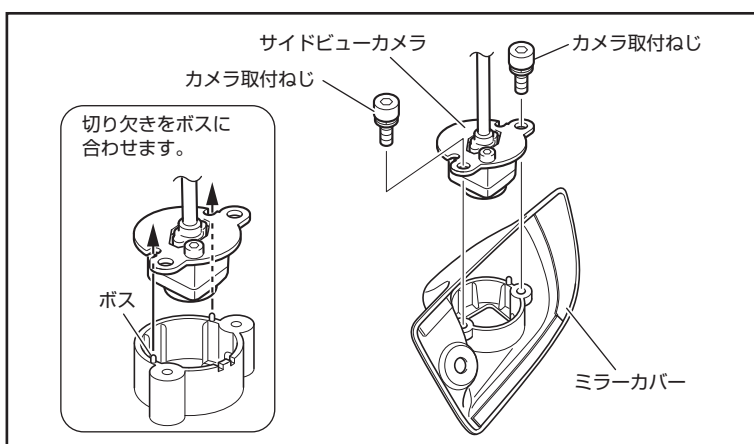


■サイドビューカメラと取付キットの組み立て

1. サイドビューカメラに、サイドビューカメラ取付キットのブラケットを取り付けます。



注意 カメラの取付け方向に注意してください。



2. ミラーカバーに、サイドビューカメラを取り付けます。

3. 取付キットの取り付け

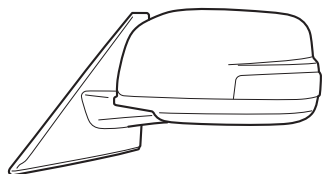
取付キットの取り付けは、サイドターンランプの有無によって異なります。下記にしたがって参照してください。

【サイドターンランプ付車の場合】・・・P.8

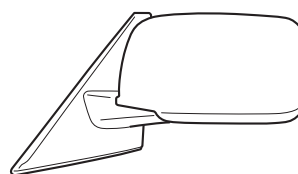
【サイドターンランプ無車の場合】・・・P.11

⚠ 注意

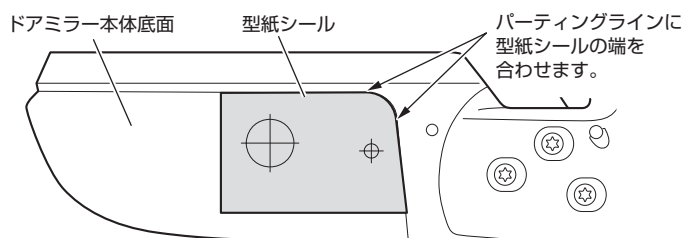
＜サイドターンランプ付ドアミラー＞



＜サイドターンランプ無ドアミラー＞

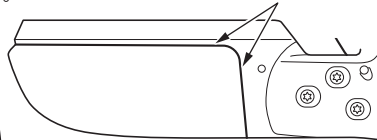
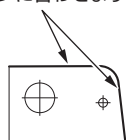


【サイドターンランプ付車の場合】



このラインをパーティングラインに合わせます。

パーティングライン



■ドアミラーの穴あけ加工

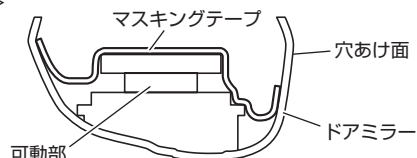
1. ドアミラー本体底面のパーティングラインに合わせて型紙シールを貼り付けます。

2. 可動部をマスキングテープですき間があかないように保護します。

⚠ 注意

可動部に切削粉が入らないようにマスキングしてください。

＜A-A'断面図＞



3. 型紙に合わせて穴をあけます。

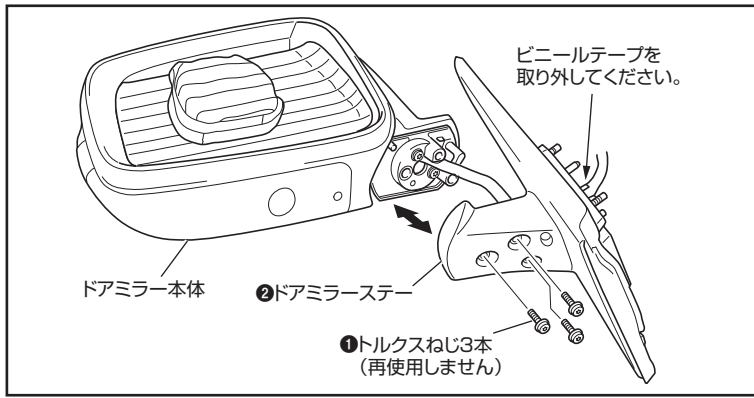
⚠ 注意

- ケガ防止のため保護メガネ・保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。
- 電動ドリルの刃が、ドリルストッパーをつけた位置よりも奥に入らないように注意してください。奥に入るとミラー内部を破損するおそれがあります。
- 電動ドリルは、必ず穴あけ面に対して垂直に当ててください。
- 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう十分注意してください。
- ドアミラーに付着した切削粉は、エアなどで確実に取り除いてください。

Memo

- 必ず下穴をあけてから穴をあけてください。
- キズ防止のため、ドアミラーをマスキングテープなどで保護してください。

4. 開口部周辺をマスキングテープで保護します。



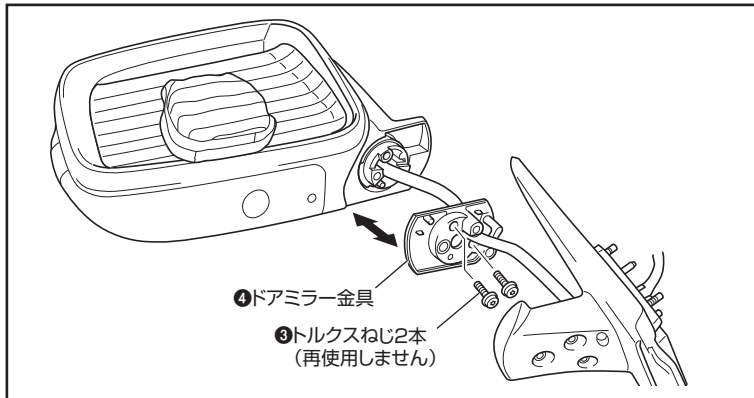
■ドアミラー本体への取り付け

1. ドアミラー本体から、ドアミラーステーを取り外します。

⚠ 注意 取り外したトルクスねじは再使用しません。

Memo

トルクスドライバー (T25) を必ず使用して脱着してください。

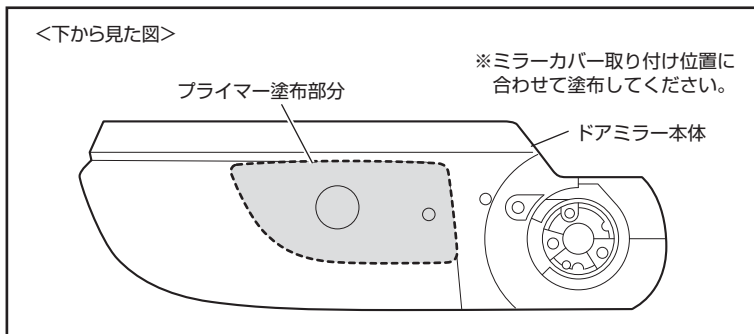


2. ドアミラー金具を外します。

⚠ 注意 取り外したトルクスねじは再使用しません。

Memo

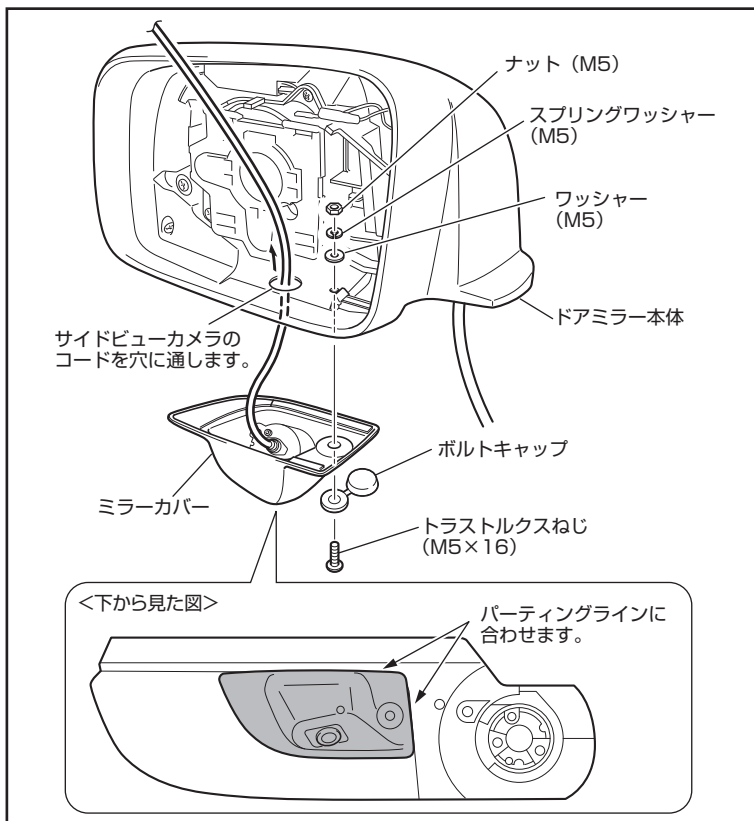
トルクスドライバー (T25) を必ず使用して脱着してください。



3. 底面の型紙シールをはがし、左図に示した  部にバックプライマーを塗布します。

⚠ 注意

- 貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- 必ずバックプライマーを使用してください。
- 塗装面にはバックプライマーが付着しないように注意してください。
- バックプライマーはその他の工程には使用しないでください。



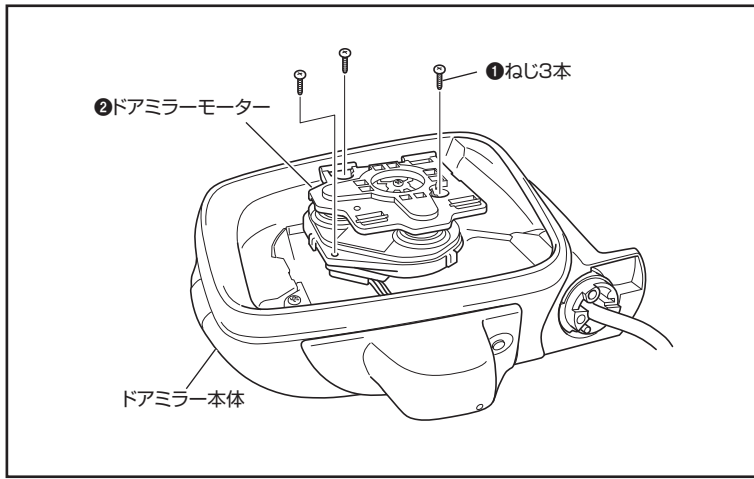
4. ドアミラー内のマスキングテープをはがします。

5. ドアミラー本体にミラーカバーを取り付けます。

⚠ 注意 トルクスねじは、「1.0～1.5N・m」で締め付けてください。

Memo

- 貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- ミラーカバーの位置がずれないように、位置合わせの目安を決めてから貼り付けてください。
- ミラーカバーの貼り直しを行った場合は接着力が落ちてしまいます。

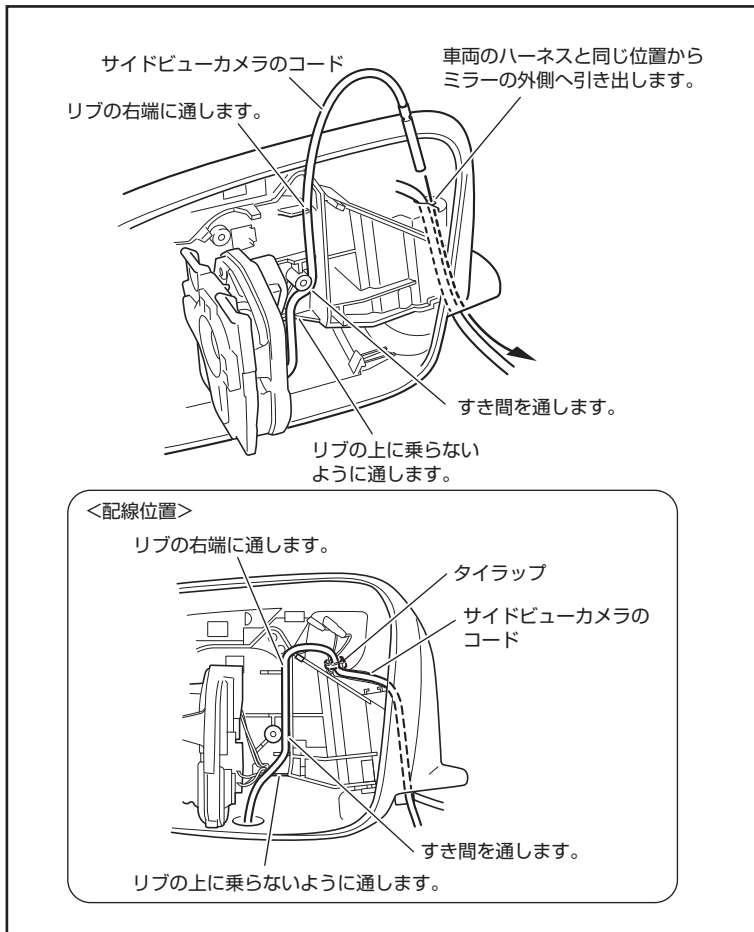


6. ドアミラー本体からドアミラーモーターを取り外します。



注意

ドアミラーモーターは強く引っ張らないでください。配線が切れるおそれがあります。



7. ハーネスに沿ってサイドビューカメラのコードを、ドアミラー内から外側へ通します。



注意

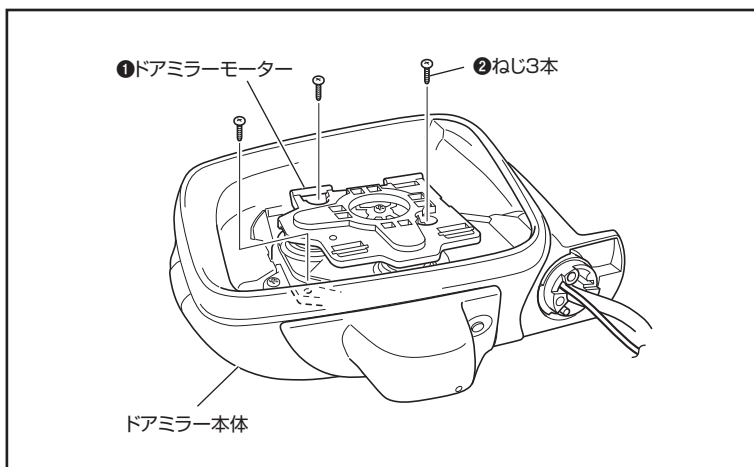
- 配線をキズ付けないように注意してください。
- サイドビューカメラのコードの端子を変形させないように十分注意してください。

8. ドアミラー内に配線を固定します。



注意

- 配線は必ず図の位置に通して固定してください。
- 可動部に干渉しないように配線を固定してください。
- 貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- 市販のタイラップを使用して固定してください。



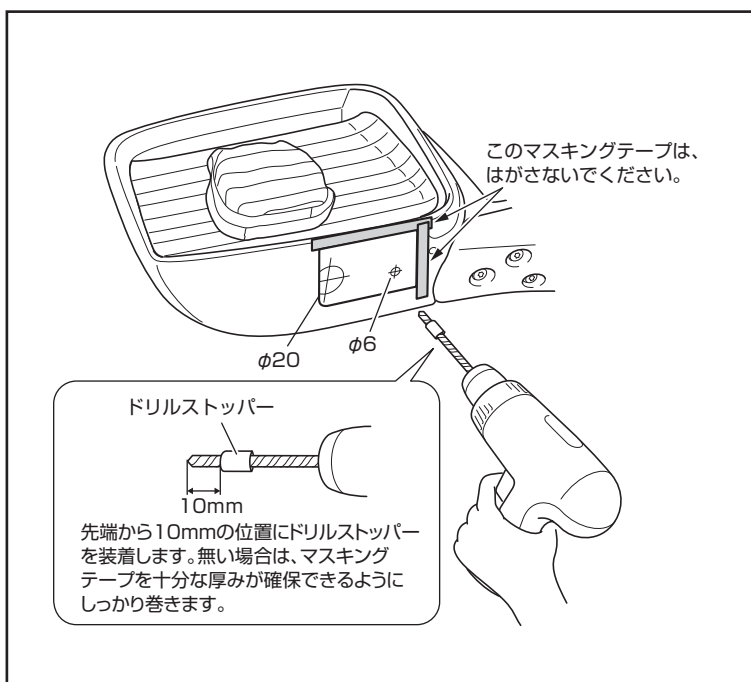
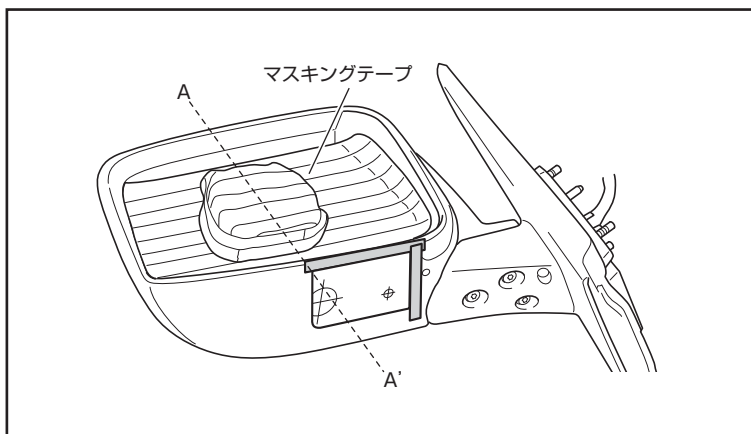
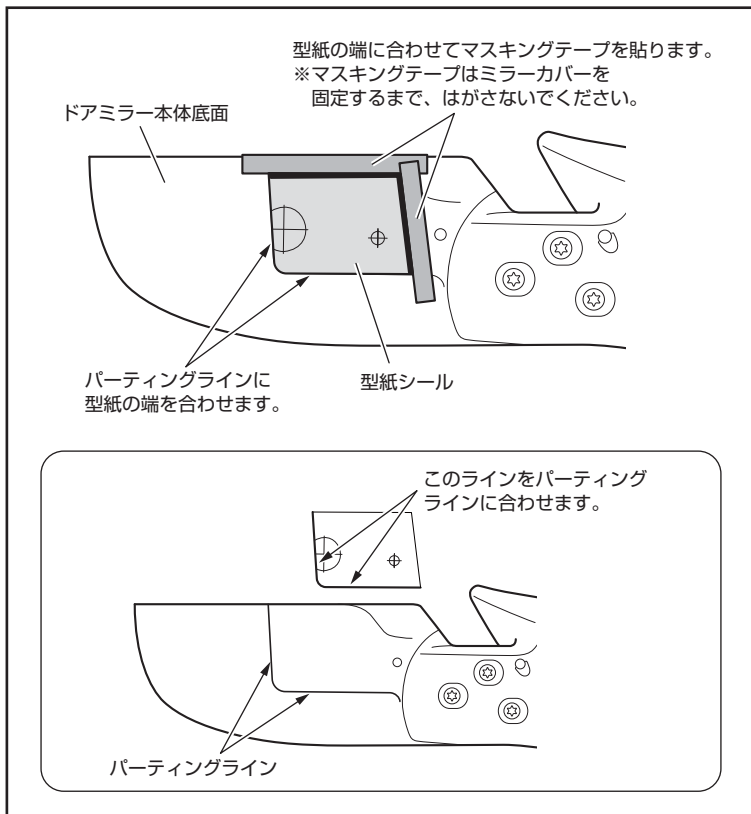
9. ドアミラーモーターを元の位置に戻し、サイドビューカメラのコードを固定します。



注意

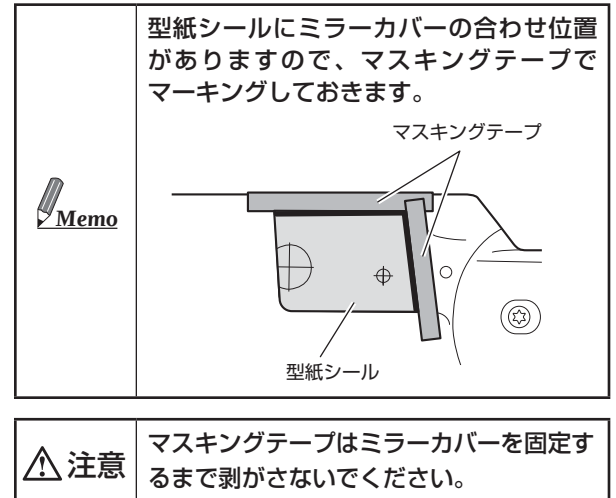
ドアミラーモーターを復元の際は、サイドビューカメラコードをかみ込まないように、必ず指定の位置へ通してください。

【サイドターンランプ無車の場合】

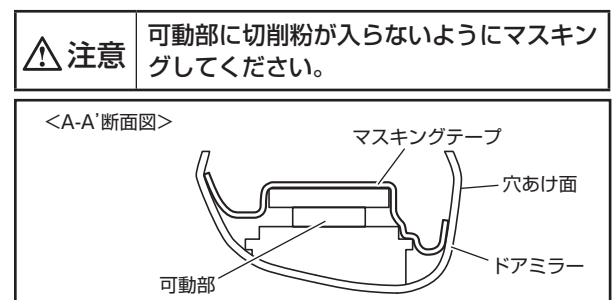


■ドアミラーの穴あけ加工

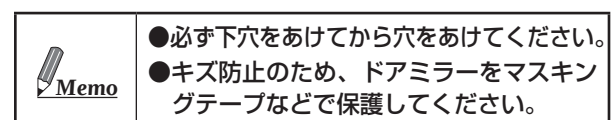
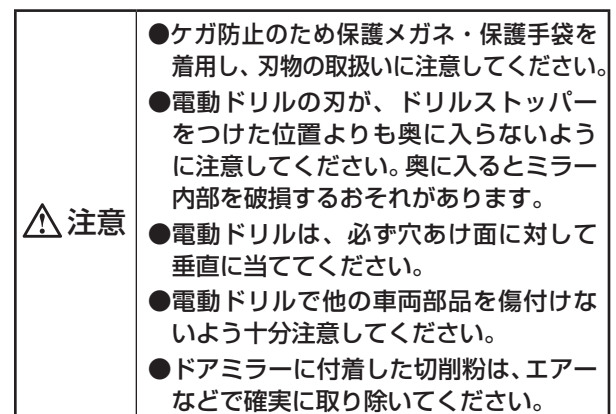
1. ドアミラー本体底面のパーティングラインに合わせて型紙シールを貼り付けます。



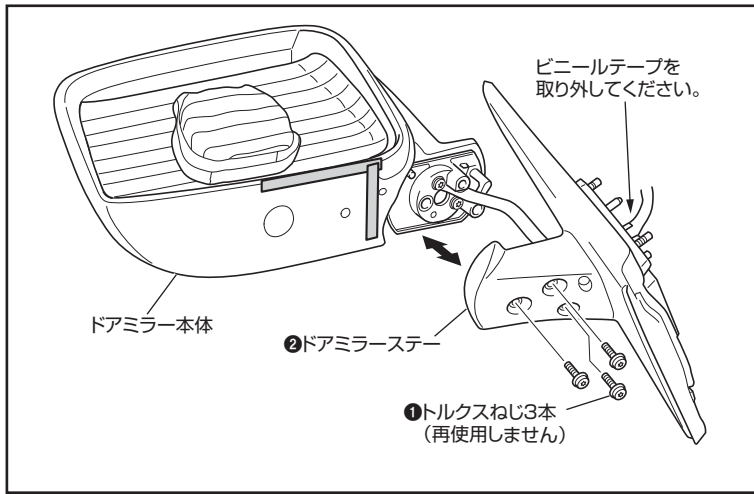
2. 可動部をマスキングテープですき間があかないように保護します。



3. 型紙に合わせて穴をあけます。



4. 開口部周辺をマスキングテープで保護します。



■ドアミラー本体への取り付け

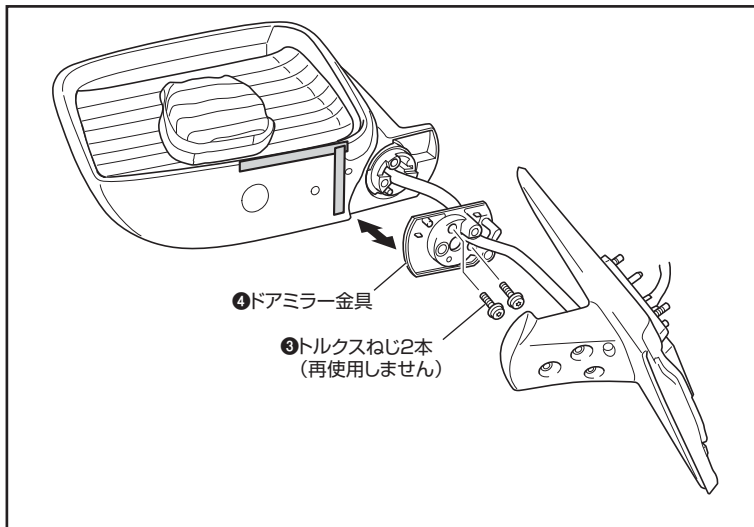
1. ドアミラー本体から、ドアミラーステーを取り外します。



注意 取り外したトルクスねじは再使用しません。



トルクスドライバー (T25) を必ず使用して脱着してください。



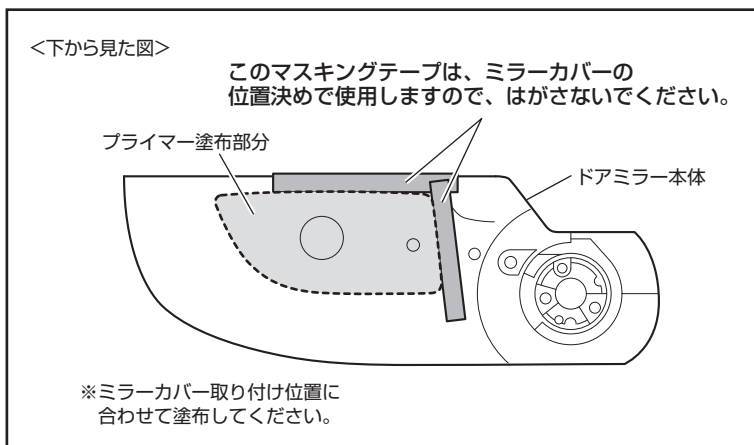
2. ドアミラー金具を外します。



注意 取り外したトルクスねじは再使用しません。



トルクスドライバー (T25) を必ず使用して脱着してください。

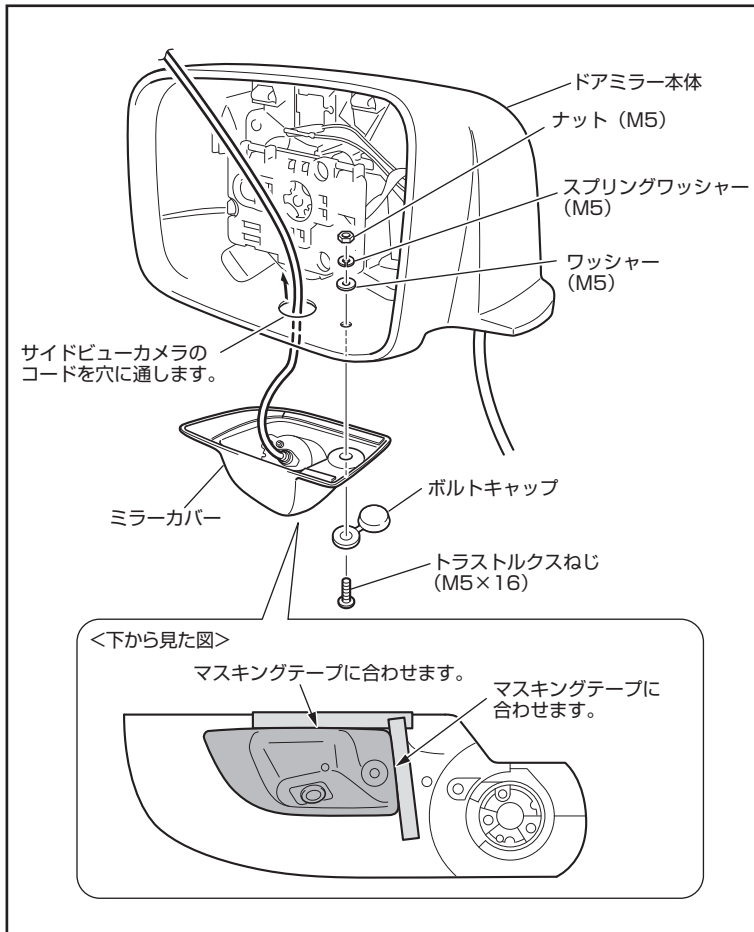


3. 底面の型紙シールをはがし、左図に示した 部 にバックプライマーを塗布します。



注意

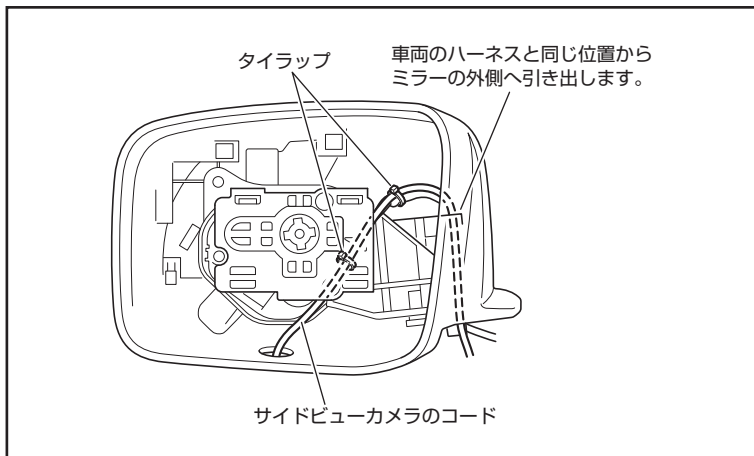
- 貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- 必ずバックプライマーを使用してください。
- 塗装面にはバックプライマーが付着しないように注意してください。
- バックプライマーはその他の工程には使用しないでください。



4. ドアミラー内のマスキングテープをはがします。
5. ドアミラー本体にミラーカバーを取り付けます。

⚠ 注意	トルクスねじは、「1.0～1.5N・m」で締め付けてください。
-------------	---------------------------------

Memo	●貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。 ●ミラーカバーの位置がずれないように、位置合わせの目安を決めてから貼り付けてください。 ●ミラーカバーの貼り直しを行った場合は接着力が落ちてしまいます。
-------------	---



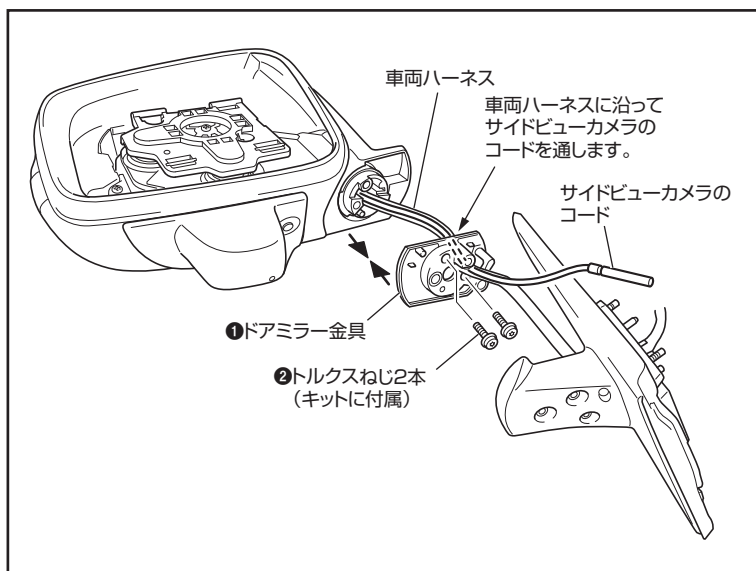
6. 車両ハーネスに沿ってサイドビューカメラのコードを、ドアミラー内から外側へ通します。

⚠ 注意	●配線をキズ付けないように注意してください。 ●サイドビューカメラのコードの端子を変形させないように十分注意してください。
-------------	--

7. ドアミラー内に配線を固定します。

⚠ 注意	●配線は必ず図の位置に通して固定してください。 ●可動部に干渉しないように配線を固定してください。 ●貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。 ●市販のタイラップを使用して固定してください。
-------------	---

4. ドアミラー本体の復元



■ドアミラー本体の復元

1. 車両ハーネスに沿ってサイドビューカメラのコードをドアミラー金具に通します。
2. キットに付属のトルクスねじを使用して、ドアミラー金具を復元します。



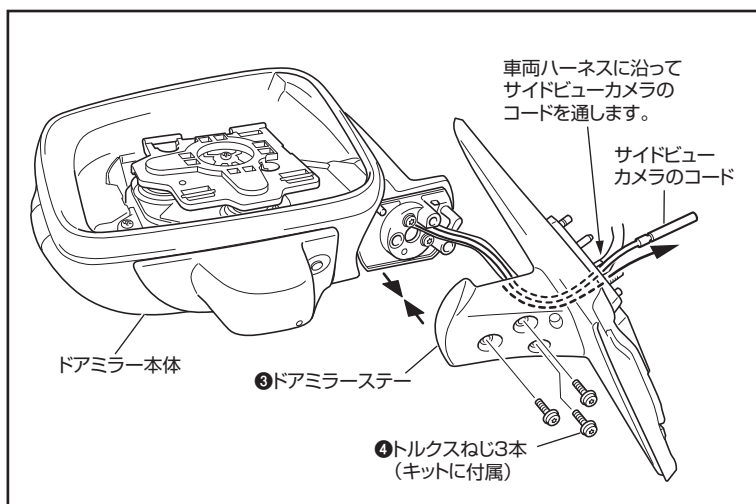
注意

- 必ずキットに付属のトルクスねじを使用してください。
- トルクスねじは、「3.4~4.1N・m」で締め付けてください。



Memo

復元前に、配線や異物が可動部にかみ込んでいないことを確認してください。



3. 車両ハーネスに沿ってサイドビューカメラのコードをドアミラーステーに通します。
4. キットに付属のトルクスねじを使用して、ドアミラーステーを復元します。



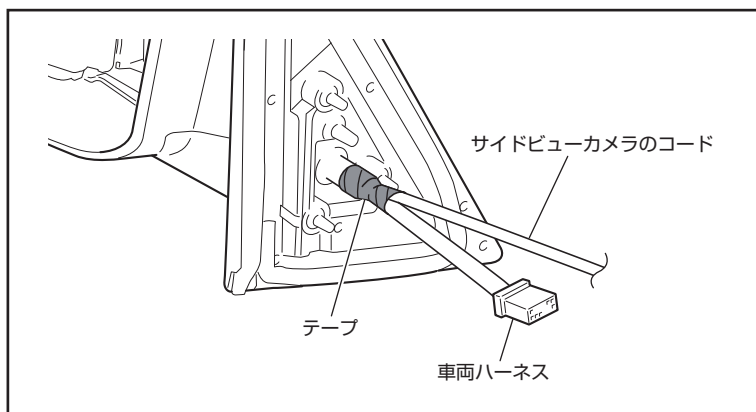
注意

- 必ずキットに付属のトルクスねじを使用してください。
- トルクスねじは、「3.4~4.1N・m」で締め付けてください。

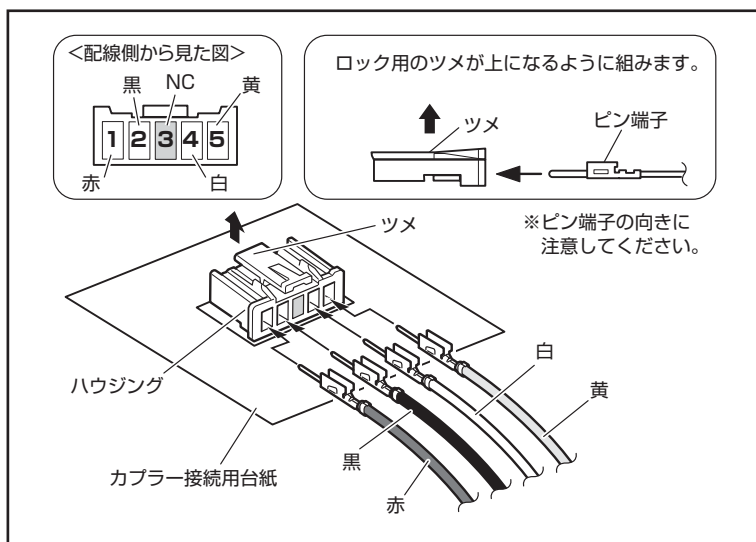


Memo

復元前に、配線や異物が可動部にかみ込んでいないことを確認してください。



5. サイドビューカメラのコードと車両ハーネスを、左図の位置にテープで固定します。



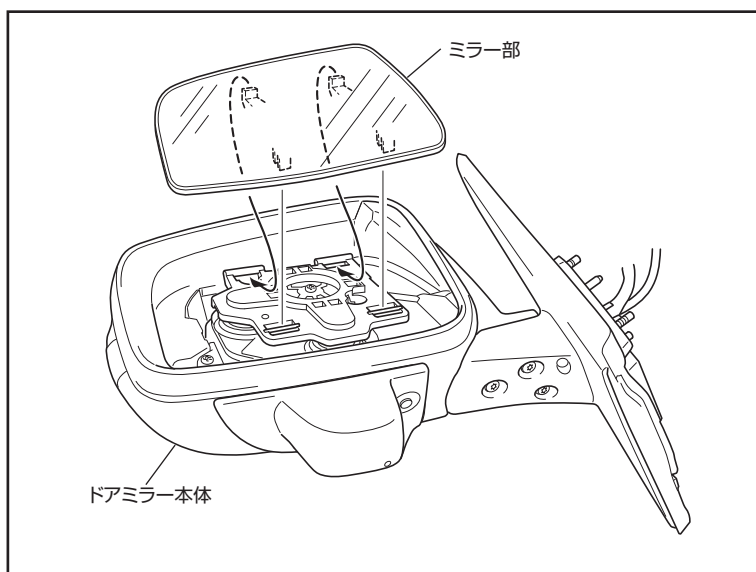
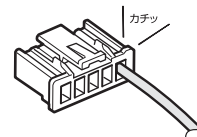
6. サイドビューカメラのコードの収縮チューブをはずし、付属のカブラー接続用台紙を使用してピン端子をハウジングに挿入します。



- 注意**
- ピン端子の向きに注意してください。
 - ピン配列を間違えるとカメラが破損するおそれがあります。



ピン端子をカチッと音がするまで奥に差し込み、ロックされていることを確認してください。



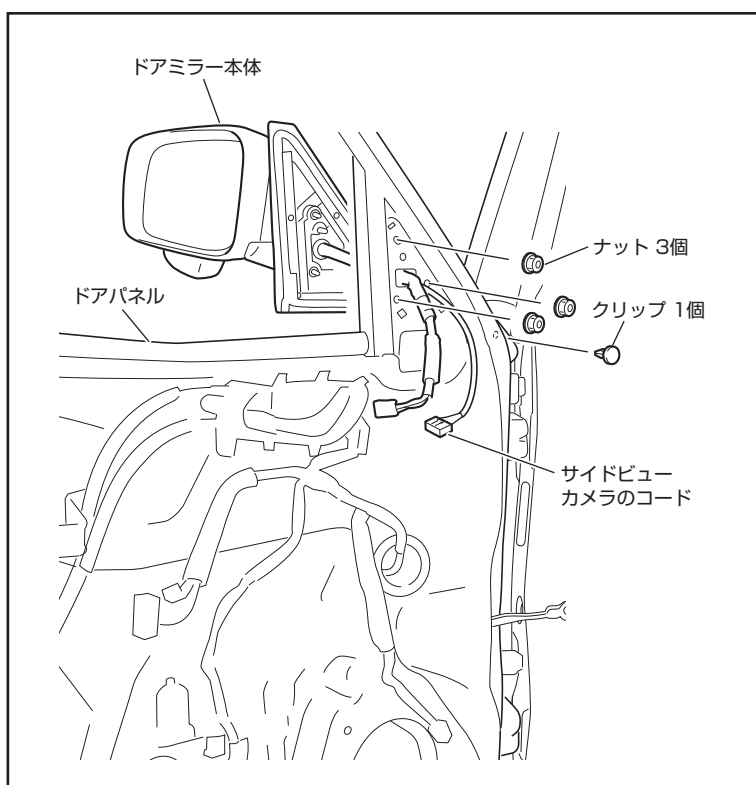
7. ミラー部を復元します。



- 注意**
- 無理な押し込みは鏡面破損の原因となるため、嵌合音の確認ができない場合は、一度ミラー部を外し再度フック位置を確認して押し込んでください。
 - ミラー部を取り付ける際は保護手袋を着用してください



ミラーは「パチッ」と嵌合音ができるまで押し込んでください。



8. ドアミラー本体をドアパネルに復元します。

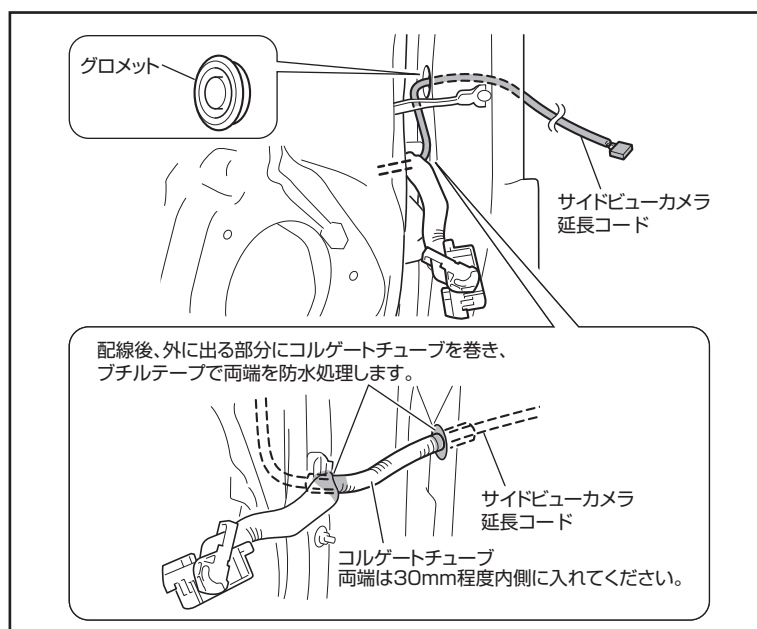
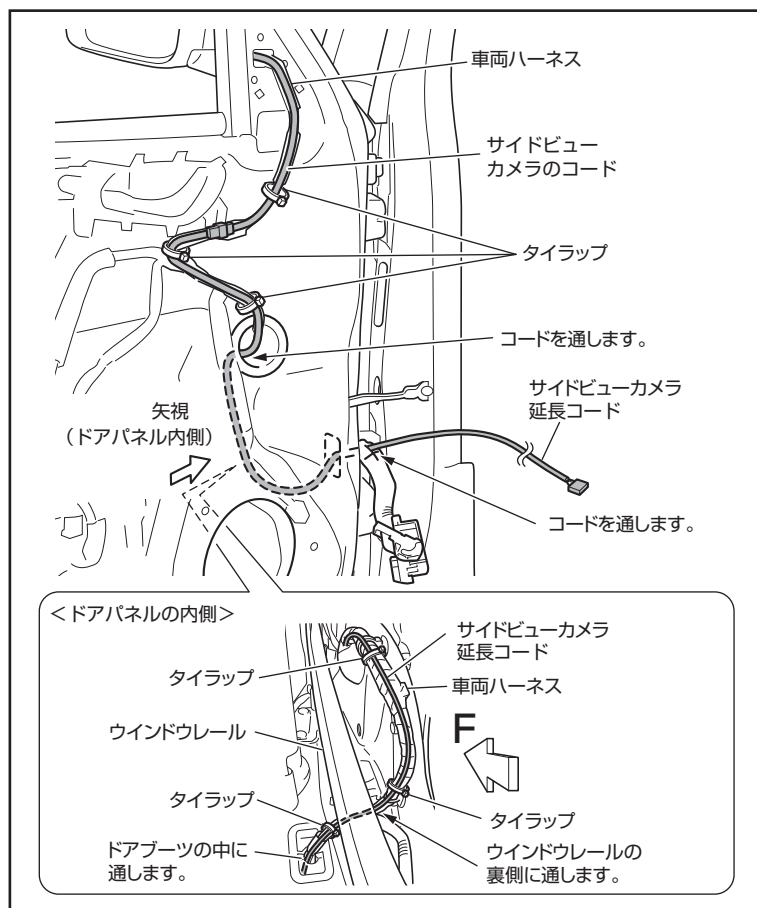
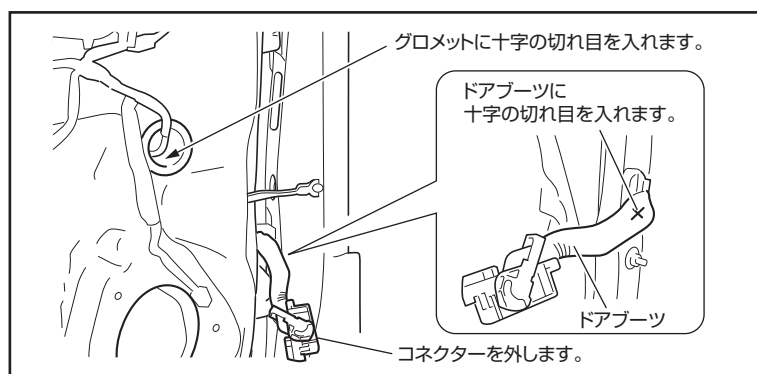


コードが、かみ込まないように復元してください。



ナット取付時のトルクは、「9.8N・m」で締め付けてください。

5. 各配線の接続



■サイドビューカメラ延長コードの配線

1. ドアブーツのコネクタを外し、ドアブーツの図の位置と、ドアパネルのグローメットに切れ目を入れます。



- 注意**
- 保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。
 - 配線にキズをつけないように注意してください。

2. サイドビューカメラのコードと、サイドビューカメラ延長コードを接続します。
3. サイドビューカメラ延長コードをグローメットからドアパネル内へ配線し、ドアブーツの切れ目から出します。



- 注意**
- ガラスの開閉に干渉しないように配線してください。

4. ドアパネル内のサイドビューカメラ延長コードを車両ハーネスに固定します。



- 注意**
- グローメット部分は、ブチルテープなどでしっかり防水処理を行ってください。
 - 市販のタイラップを使用して固定してください。

5. 図の位置にあるグローメットを取り外し、サイドビューカメラ延長コードを室内側へ通します。



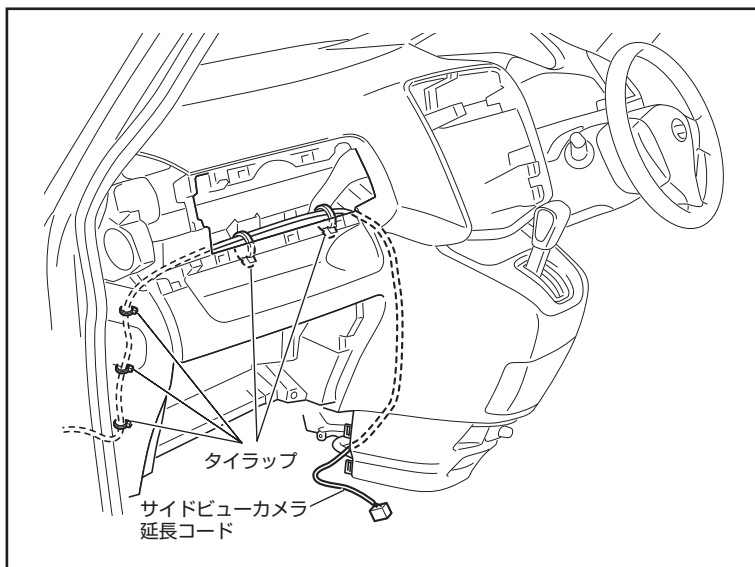
- Memo**
- コードはドアの開け閉め時に挟んだり張りすぎたりしないように、適度な余裕を持たせて通してください。

6. ドアブーツ切れ目から室内入口までのサイドビューカメラ延長コードにコルゲートチューブを巻き、両端を防水処理します。



- Memo**
- ドアを完全にひらいた状態で、ケーブルが張っていないことを確認してください。

7. ドアブーツのコネクタを元に戻します。

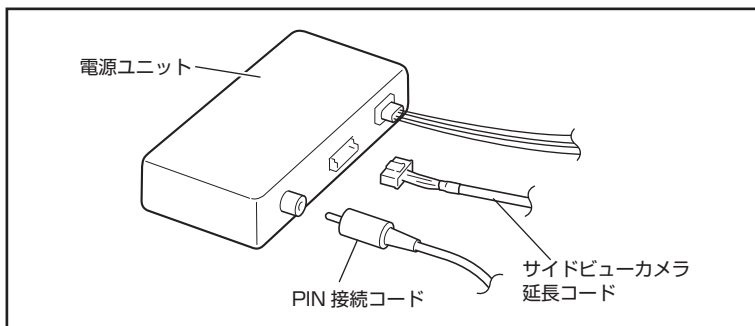


8. サイドビューカメラ延長コードをグローブボックス裏側に通し、センターコンソール下の奥まで配線します。



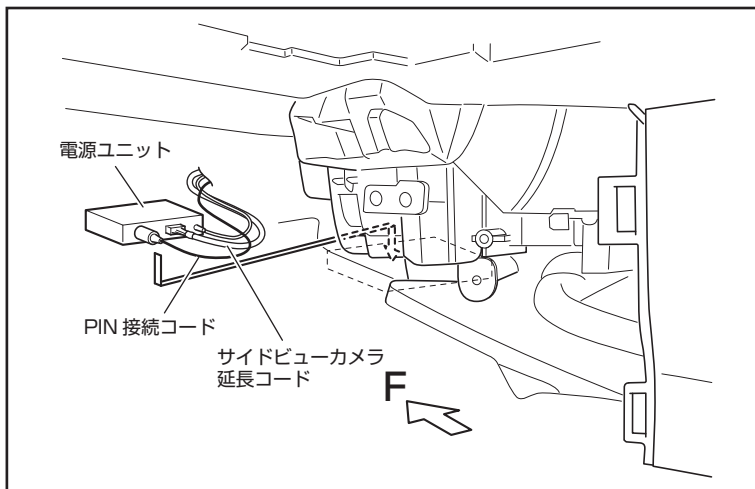
注意

市販のタイラップを使用して固定してください。

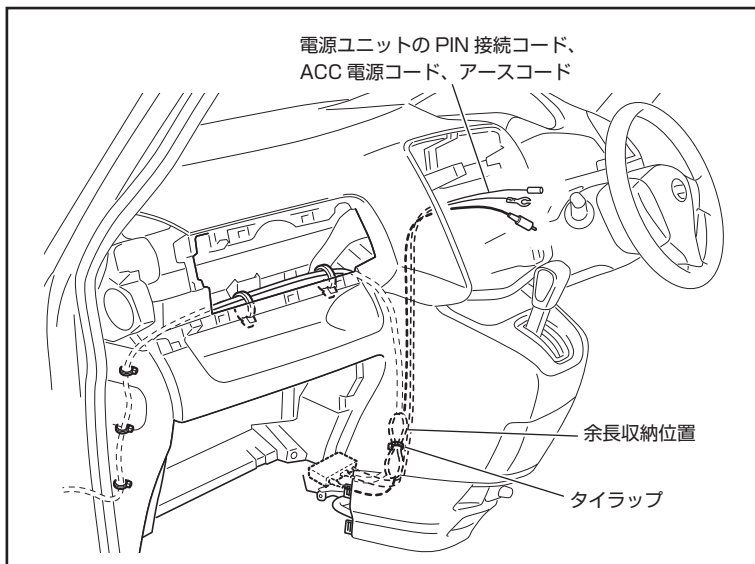


■電源ユニットの設置

1. 接続図を参照し、電源ユニットにサイドビューカメラ延長コードとPIN接続コードを接続します。



2. 電源ユニットをセンターコンソール下のフロア面に設置します。



3. 電源ユニットのアースコードを車両のアースポイントに接続します。



注意

必ずテスターで導通の確認をしてください。

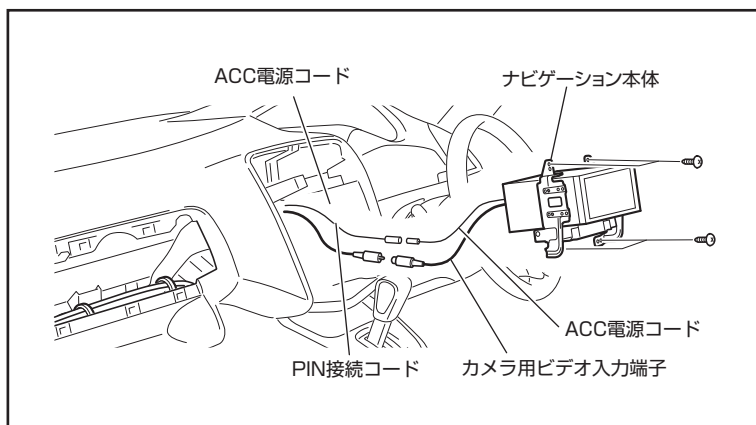
4. 電源ユニットのPIN接続コード、ACC電源コードをオーディオスペースまで配線します。
5. 余長を図の位置に束ねて収納します。



注意

市販のタイラップを使用して固定してください。

6. ナビゲーション本体の取り付け



■ナビゲーション本体の取り付け

1. 接続図を参照してナビゲーション本体に各配線を接続します。
2. ナビゲーション本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。



Memo

配線の名称を確認し、間違えないように配線してください。

8

動作確認/車両部品の復元

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。
2. サイドビューカメラの映像が出ることを確認します。



Memo

外部入力端子接続の詳細は、各ナビゲーションの取付説明書を参照してください。

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:30 (土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/ 新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/ 島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/徳島県/ 高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/ 宮崎県/沖縄県